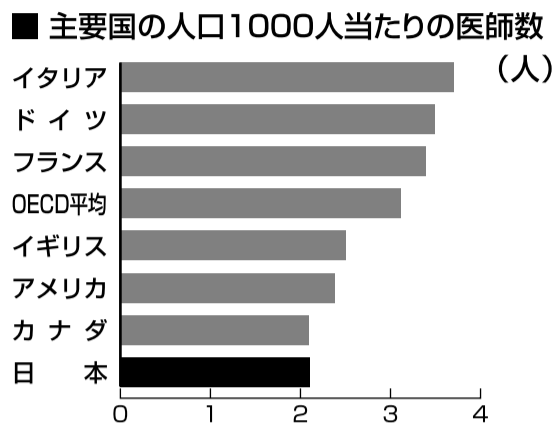
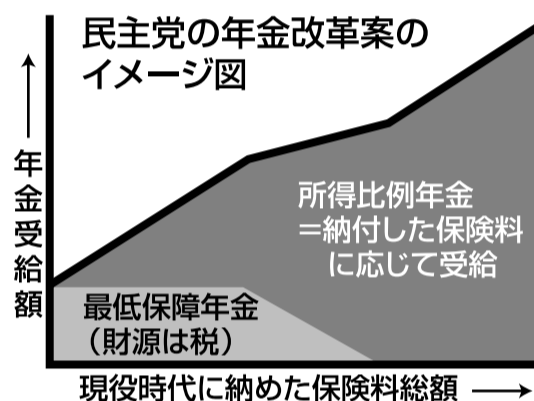


# 医療崩壊をストップ 原因は、医師不足と社会保障予算の削減。他の先進国並みの医療を



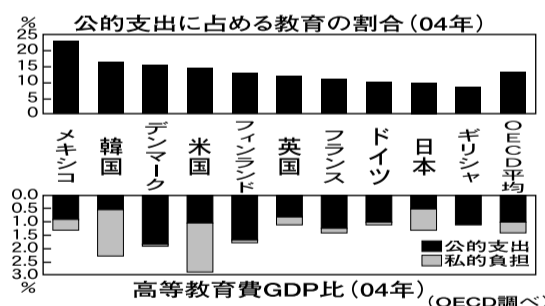
- 社会保障費削減方針は撤廃。総医療費をOECD加盟国平均にまで引き上げます。
- 大学医学部定員を1.5倍に引き上げ、医師不足の解消をめざします。
- 後期高齢者医療制度は廃止し、これに伴う国民健康保険の財政負担は国が支援します。また、国民健康保険の地域間の格差を是正します。

# 公平な新しい年金制度の創設 2013年までに年金制度の抜本的な改革を行います



- 年金制度を例外なく一元化  
すべての人が同じ年金制度に加入し職業を移動しても手続き不要にします。
- 所得比例年金  
すべての人が「所得が同じなら同じ保険料を負担」、納めた保険料を基に受給額を計算します。
- 最低保障年金制度  
消費税を財源とする「最低保障年金」制度をつくります。

# 子育て・教育 日本の子育て・教育予算は先進国で最低水準。次代を担う世代のため、子育て・教育政策を充実する必要があります。



- 月額2万6千円の子供手当創設  
中学卒業までの子供ひとりあたりに支給します。
- 公立高校の授業料は無料化、私立高校にも授業料を補助
- 奨学金制度改革  
所得800万円以下の世帯の学生に国公立大学の授業料に見合う無利子奨学金の交付を可能にします。

## Q-4 財源は大丈夫ですか。

**おくの** 財源としては、まずはムダを省くなど予算の組み替えで捻出すべきです。天下りを許しながら、増税をすることは、国民が納得しません。

しかし、800兆円を超える借金があるわけですから、これを減らすためには税の見直しも考えざるをえません。今回の選挙後は、天下りの根絶など徹底的なムダの排除を行い、国民から信頼される政府に変える。そして、その次の選挙で消費税又は所得税などの税率の見直しを争点にすべきだと考えます。

## Q-5 ご自身が官僚出身なのに本当にできるのですか。

**おくの** 私の強みは、法令の読み書き、予算の仕組みなど、官僚のやり方をよく理解していることです。私だからこそ改革できるとも言えます。新人、しかし、即戦力です!